



尼崎市立武庫中学校

学校だより 平成25年9月号

校訓 友愛 正義 自主 創造 健康

きょうという日は人生のうちで最も重要な一日だ！ その思いで挑戦の日々を送ろう

校長 大石 泰樹

この言葉はアフラック創業者大竹美喜（よしき）さんが信条にされているもので、彼はインタビューでこう言っています。「私は毎朝『きょうという日は人生のうちで最も重要な一日だ』という言葉をも自分自身に30回言い聞かせてから仕事に入ることにしているんです。単にきょう一日が大切だということではない。人生の中で最も重要な一日だと。そして、毎晩寝る時には、きょう一日こんなにいい日はなかったと感謝、そして反省、最後は明日に対する祈り、この3つを繰り返す。」と。今日という一日をとっても大切にされている思いが伝わってくる言葉ですね。人生といっても毎日の積み重ねです。今日をいい加減に過ごしては損です。何事もコツコツとやり抜くことで成長していくのです。2学期は一番長い学期。じっくり学習に打ち込める時です。しっかりと実力をつけてください。学は光、無学は闇です。また、大きな行事も控えています。1年は宿泊学習、2年はトライやるウィーク、全学年共通の合唱コンクールと文化発表会。これらの行事を通して人間関係を深め、新たな友人をつくり、つながりを広げ、クラスの団結を図っていくいい機会です。積極的に人のためになることにも挑戦して下さい。一度しかない中学校生活です。同じ過ごすなら全力投球で最高の思い出を作っていこうと決意していけば大きく道は開けていきます。人は心の置きどころ一つで大きく変わります。もう駄目だとあきらめるか、くそっ負けるもんかと踏ん張るか、それによって結果は変わります。最後は自分との戦いです。大事なことは他人と比べるのではなく自己に勝つこと。自己ベストを更新していくことを目標にがんばることで。どうか、冒頭に書いた気持ちで今日一日を勝利していきましょう。

負けじ魂を持っていざや前進を！！（大竹さんの言葉 致知8月号参照）

たそがれまつり～たそがれコンサート（8月26日）

クラブ育成会・クラブ員

～地域とともに～

今年も夏の終わりのイベントが大盛況のうちに終了しました。前日の大雨が上がり、夏の暑さも少しはましな状況の中クラブ育成会・顧問・部員が協力体制を取り、“たそがれまつり”を実施しました。



たそがれまつりに続いて～武庫中学校区児童生徒健全育成事業の一環～夏の夕暮れのひとつき武庫之荘総合高校・常陽中学校・武庫東中学校・武庫中学校4校の吹奏楽部が参加してくれ、素晴らしい音楽で心癒やされるひとときを過ごせました。2つの大きな行事の運営にあたっていただきました方々に感謝いたします。ありがとうございました。また来年を楽しみにしたいと思います。



トライやるウィーク（9月9日(月)～9月13日(金)）

2年生、122名が1週間「トライやるウィーク」に挑戦します。1学期にハローワークの方に来ていただき、「働くこととは」「学校と職場に違い」「働くために必要な力」等々お話をしていただきました。いよいよ1週間地域にお世話になります。学校・地域・家庭が連携をしてこの体験を素晴らしいものになりたいと考えています。地域で生徒たちが頑張っている姿を見かけましたら、気軽に声をかけてやってください。

宿泊学習（9月26日(木)～27日(金)）6日(金)保護者説明会です

1年生、142名が兵庫県神鍋高原に宿泊学習にいきます。

～準備から本番その後の学校生活へ～すべてが学びです。

“自然のすばらしさ”“仲間との協力”“家族への感謝”“自分への自信”すばらしい経験をさせてやりたいと考えていますので、各家庭のご協力よろしくお願いします。